

<安全管理について>

- 新たに発足した「通学路安全見守り隊」の活動が、より有効に機能するように工夫していきたい。また、今年度実施した「不審者侵入に対する防犯訓練」も大変効果的であった。今後も、効果的で必要性の高い避難訓練を計画していきたい。教職員間の連携を強め、迅速に対応できるようにしていきたい。

<組織運営について>

- 職員会議や学年会が機能しており、小さなことでも学校全体の課題として取り組んできた成果であると感じる。協働体制を維持し、学年間・学級間の情報交換を円滑に進めていきたい。

<教育目標について>

- 学校要覧、HP等を活用しながら、PTA委員会や各種行事を通して、保護者への説明・広報を進めていきたい。また、業間を利用した体力づくりを手掛けてみたい。より成果があがる方法や内容を研究していきたい。

<保護者との連携について>

- 些細なことでも家庭と連絡を取り合い、学校と家庭とが一体となって指導にあたるように心掛けてきた。心配ごとや相談ごとだけでなく、児童の活躍の様子などについても、積極的に家庭に知らせていきたい。

<教育環境整備について>

- 安心・安全を最優先に考えているために、すぐには整備しきれない箇所もあるが、できることから徐々に取り組んでいきたい。大規模な改修が必要な箇所については、町教委へ要望を出していきたい。

V 総括

本校は地域に根差した学校であり、保護者や地域の方々の、学校に対する関心は高い。学校の諸活動にも非常に協力的で、地域の方々に支えられた学校運営がなされている。今後もこうしたメリットを生かしながら、効果的な学習指導や生徒指導が展開されるように、努めていきたい。

20年度のアンケート分析結果により、本年度の重点課題として、学習習慣の確立・あいさつや言葉遣い・身の回りの整頓などの「基本的な生活習慣」の育成を掲げ、この1年間取り組んできた。学習カードを開発したり、体験活動を充実させたりするなどの手立てを考え工夫してきたが、本年度の結果をみると、必ずしも十分に成果はあがっていないように感ずる。22年度は更に研究を深めていかなければならない。

反面、「保健管理」「安全管理」といった管理面は昨年と同様に良い結果が得られている。教員間の意識も高まってきており、共通理解のもとに取り組んできた成果であると考えている。

今後も学校だけでなく、家庭や地域と一体となった指導を心掛け、協力を得ながら、健全な児童の育成に向けて研究を重ねていきたい。